

南アルプスだけじゃない、 いかわねの山々

前号で特集した南アルプスあぶとラインが開通するより昔、いかわとかわねを結んでいた山道があります。今はひっそりとしていますが、お地藏様が守っていたり、遠景を望む広場があったり。多くの登山者が雪解の山々を目指すこの季節、ちよっと手前の地元の山も気持ちのいい時期を迎えています。

言わずと知れた、山伏のヤナギラン

地元いかわねをはじめ、日本三百名山としても名高い「山伏」(2,014m)。井川にある百量峠登山口からは、初心者でも徒歩50分程度で山頂まで登ることができます。これからの季節、見どころはなんと言ってもヤナギラン！山頂付近には、ヤナギラン群落広がっています。天気のよい日には、南アルプスや富士山も一望できます！



古林さんおすすめの梅地パイロットファームからの大無間山。富士見峠から七ツ峰方面に車で10分のところにあります。この先は、七ツ峰への登山道が続いていますが、登山道入口がわかりにくいのでご注意ください。



トレイルランニングコースOPEN!! (オレンジのコース)

当日は51人が参加。
県外からも多数参加！



南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家を起点に、高低差190~230m、適度のアップダウンがある初心者向け2コースが開設されました。トランスジャパンアルプスレース(TJAR)4連覇中の望月将悟氏(井川出身)が監修しました。井川湖を俯瞰し南アルプスを遠望する、実に自然満載のコースです。今後、井川本村を巡るコースも開設される予定です。ランニングをしながら、本村観光や地元の方たちとの交流を同時に楽しめる、よければコースになりそうです。井川本村から渡船を利用して対岸に行きトレランを楽しむの良いと思います。



コース監修した望月将悟氏



天狗石山~七ツ峰間に咲いていたイワカガミ。北海道から九州までの山地~高山に生育するイワウメ科の植物。日本固有種。花冠は1cm程度で群落を作ることが多く、前黒法師山の中腹にも大きな群生地があります。



いかわねを繋いだ観音様の道 (緑のコース)(赤のコース)

堂平の観音様を運んだと思われる井川大日から川根智者山を尾根伝いに繋ぐ道は、現在もいかわねを楽しめるハイキングコースとして残っています。安土桃山時代には智者山に関所が設けられ、薬料上流から井川へ金山物資を運ぶ道であったとも考えられています。じっくりといかわねを歩いてみたい方は、アプトラインを使ってぐるっと一周緑のコース(※)を。お手軽に山歩きを楽しみたい方は、富士見峠から三ツ峰間、赤のコースがおすすめです。

(※)川根本町地域おこし協力隊ブログ「千頭-井川縦走ルート」を要チェック!



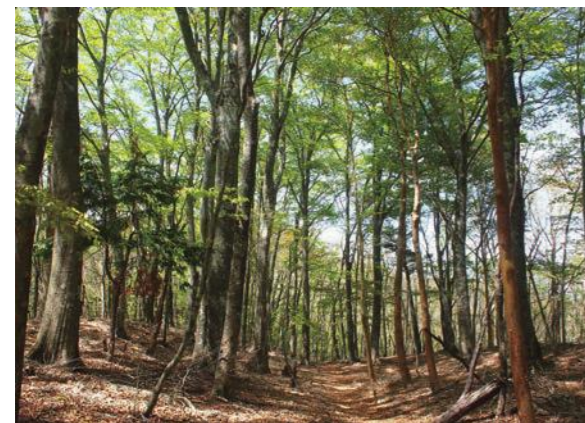
智者山の観音堂前にて

昔々、井川の堂平にあった観音様を旅僧が、大日、三ツ峰、七ツ峰を通り川根まで運んでいったそう。後に、川根の智者山にある観音様は、扉を開けるたびきまって井川の方を向いているという噂が井川では語り継がれた。時は平成。これを耳にした井川衆が、「そりゃ、観にいかんぞあ!」と、皆で(ヤマエイの)バスに乗り合わせて智者山まで訪れたそう。川根衆に話を聞くと、智者山と堂平の観音様はなんら関係ないようであった。それからというもの、智者山のお祭りには井川衆がよく訪れ一緒に観音様を祀ったそう。

天狗石山から奥大井湖上駅方面に10分ほど下ったところにあるお地藏さん。梅地地区と静岡市をつなぐ街道の安全を205年前から見守っています。昨年、奥大井・南アルプスファンクラブにより祠の設置を行いました。



天狗石山ハイキングコース (青のコース)



智者山神社から智者山経由で天狗石山を往復するのが一般的なコース。智者山は最大斜度30度もある急登が大変ですが、ここを登り切れば、天狗石山までのなだらかな尾根沿いに、ブナやヒメシャラといった明るい天然の広葉樹林帯が広がります。ユニークな形の樹木、ふかふかの落ち葉、小鳥のさえずり、林床に生える植物など、楽しく歩けるルートです。智者山神社から天狗石山まで、登り2時間、下り1時間30分。天狗石山から奥大井湖上駅へ下山し、井川線で戻る周遊コースもおすすめです。

【智者山神社の由来】
大化年間の建立と伝えられ、安貞元年(1227年)の棟札が現存しています。天之水分神あめのみくまりのみかみが祀られており、雨乞いの人々が訪れていたそうです。現在は、その名から合格祈願の絵馬が数多く奉納されています。

【三十三地藏】
智者山神社の表参道には三十三体の石地藏がほぼ等間隔で祀られています。一体一体に番号が刻まれており、その昔参道を行く人の良い道標となっていたそうです。